

第34回

伊那谷自然友の会 総会

期日 2018年5月 19日 (土)

場所 飯田市美術博物館 講堂

一、総会日程

受付	12:30	～	12:55
総会	13:00	～	13:45
記念講演会	14:00	～	15:30

二、総会次第

- 1, 開会のことば
- 2, 会長あいさつ
- 3, 議長選出
- 4, 議 事
 - (1) 2017年度事業報告に関する件
 - (2) 2017年度決算に関する件
 - (3) 2018年度事業計画に関する件
 - (4) 2018年度予算に関する件
 - (5) 2018年度役員組織に関する件
- 5, 閉会のことば
- 6, 諸連絡

〈休憩・準備〉

三、記念講演会

1, 講師紹介

演題 「川虫で河川環境を調べる」

講師 谷田一三 先生 大阪市立自然史博物館館長、大阪府立大学名誉教授

2, 質問

3, お礼のことば

伊那谷自然友の会会則

1998年5月31日改正
2005年6月5日再改正

- 1, この会の名前は「伊那谷自然友の会」という。
以下「友の会」という。
- 2, 友の会は、伊那谷丸ごと博物館構想を理念に、次のような目的をもって活動していく。
 - (1) 伊那谷を中心として、自然科学に関する調査研究をする。
 - (2) その成果を広く公開し、幅広く利用してもらう。
 - (3) 伊那谷の教育と文化の発展に活動する。
 - (4) 自然保護に役立つための活動をする。
- 3, 友の会は、その目的をなしとげるために、次のような事業をしていく。
 - (1) 会報を定期的に発行する。
 - (2) 自然に親しむための会（自然観察会などの野外活動）を計画し、実行していく。
 - (3) 自然を考えたり、語り合う集いをもつ。
 - (4) 会員の協力を得て、自然に関する調査活動をする。
 - (5) 伊那谷の自然を探るガイドブックや地図などをつくって発行する。
 - (6) 伊那谷の豊かな自然の特色を生かした博物館・自然園・観察路づくりのお手伝いをする。
 - (7) 伊那谷の自然を愛好する団体とも連携・協力しあって、ともに伊那谷の自然の保護・学習活動を推進する。
- 4, 友の会の会員は2種類ある。
 - (1) 普通会员 友の会の活動に関心を持っている人
 - (2) 賛助会員 友の会の事業を積極的に援助してくれる人
- 5, 会員は、会費を納める。
会費は前納制とし、普通会员は 年額2000円
賛助会員は 年額4000円とする。
- 6, 友の会の組織は、次のような役員で構成する。任期は2年とし、再選されることも認められる。
 - (1) 会長 1名 常任委員会で推薦し、総会で選出する。
 - (2) 副会長 2名 #
 - (3) 常任委員 若干名 常任委員会で推薦し、総会で選出する。
 - (4) 幹事 幹事長 1名 幹事 若干名 会員の中から会長が委嘱する。
 - (5) 会計監査委員 2名 常任委員会で推薦し、総会で選出する。
- 7, それぞれの役職とその任務は次のようにする。
 - (1) 会長は、友の会の代表者として会の運営に当たる。
 - (2) 副会長は、会長を助け、会長に事故のあったときは、代わって会の運営に当たる。
 - (3) 常任委員は、会運営のために必要な事項を審議し総会で議決された事業を推進する。
 - (4) 幹事は、事務・会計・編集・行事などの仕事を行う。
 - (5) 会計監査委員は、会計を監査し、その結果を総会の場で会員に知らせる。
- 8, 総会は、年1回年度の初めに開き、会務の報告、事業の計画、会が実行する事業の上で、必要な事柄について決定する。
但し、緊急且つ俊敏に対応しなければならない事項の決定等については、常任委員会（2ヶ月に1回行われる）の承認を得て代行できるものとし、事後の総会に報告・承認を得るものとする。
- 9, 友の会の会計年度は毎年4月から始まり翌年3月末に終わる。
- 10, 友の会の会則の変更は総会で行う。

附則

- 1, 友の会の事務局は当分の間、飯田市美術博物館気付として置く。
事務局 長野県飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館
- 2, 会報は年6回発行し、各地区の世話役を通して届ける。郵送者には郵送する。
- 3, 総会を開く時は、1ヶ月前に全会員に通知し、総会のときの採決は、出席者の過半数で決める。
- 4, この会則は、2005年6月5日から適用する。

伊那谷自然友の会 活動支援基金 規約

1. 基金設立の趣旨

- (1) 従来、「本会計」の収支、残高とは別に 保管されてきた会費以外を原資とする「資金残高」について、「本会」の維持発展のために、有効でかつ幅広い目的に対応できる資金として明確に位置づけ、その「受け皿」とした。
- (2) 同時に、将来に向けての「本会」の活動資金の支援について、体制と保管のルールを定めた。

2. 名称 「伊那谷自然友の会」活動支援基金 (略称 伊那谷基金)

3. 目的 「伊那谷自然友の会」(以下本会という)の活動を継続的に維持し、さらに幅広く発展させてゆくために寄与することを目的に設立し、これに必要な金銭的支援を行う。

4. 支援内容 本会の「年度予算」に計上されていない臨時の出費や、經常の「会費」の収入ではまかなえない新たな企画の費用など、本会から要請があったものについて「運営委員会」が妥当と認めた支出。

5. 基金の運営 本基金は健全に運営するものとし、本目的に賛同する個人、団体等からの賛助金を受け入れできるものとする。

6. 運営委員会 本基金の適切な管理運営のため、「運営委員会」を設けて議決を行う。委員長は本会会長とし、委員は副会長2名、事務局会計担当者および事務局担当美術博物館職員とし、計5名で構成する。

7. 会計 会計年度は、「本会」会計と同一とし、「本会」の会計監査を経た後、常任委員に諮り、総会に報告する。

8. その他 本規約は平成22年度より施行する。

* 付則 本基金の設立にあたり、「伊那谷自然友の会」がこれまで保管してきたこの種の目的に相当する資金を本基金に繰り入れることができるものとする。

注) 用語の規程

- ・基金 : 将来の目的のために準備、積み立てておくお金
- ・賛助金 : 事業の趣旨に賛成し支援するお金
- ・寄付 : 公共の事業、団体や寺社などに金品を贈ること

2017年度

事業報告

1. 会報「伊那谷の自然」発行 (B5版、カラー4p、モノクロ12p/フルカラー) 各号1500部
- 第190号: H29, 4, 1発行 特集 外来種退治の先に見えた「生きものの楽園」の姿
 第191号: H29, 6, 1発行 特集 中央構造線を歩く2
 第192号: H29, 8, 1発行 特集 伊那谷が消える日って考えられますか
 第193号: H29, 10, 1発行 特集 風越山のハリモミ林
 第194号: H29, 12, 1発行 特集 伊賀良井にみる先人達の知恵
 第195号: H30, 2, 1発行 特集 南アルプスエコパークの魅力的な生き物たち

2. 総会

期日 平成29年 4月 16日(日)

記念講演会 「ジオパークによる地域社会づくり -糸魚川ジオパークの試行錯誤の歩みから-」

講師 竹之内 耕氏 (フォッサマグナミュージアム学芸員)

参加人数 49名

3. 講座と観察会

〈自然講座〉

月	日	講座名	参加人数	講師
4	23	伊那谷の盆地誕生ものがたり	87	松島信幸氏
6	24	中部日本で見つかった古代の大陸塊	71	坂本正夫氏
7	15	富草の海の化石 -新産出の海獣は語る-	25	小泉明裕氏
8	19	地球温暖化で南極の水は溶けるのか?	48	菅沼悠介氏
9	9	亜高山・高山植生の分布パターン	26	石田祐子氏
10	7	恐竜を絶滅させた(?)大規模火山活動 -濃飛流紋岩のすがた-	47	小井土由光氏
10	14	猛禽類の生息環境と保護対策	46	林 正敏氏
11	18	南アルプス高山にくらす生き物たち	43	四方圭一郎氏・岸本年郎氏
12	9	いま長野県の高山帯で進行している温暖化の状況	32	浜田 崇氏
1	13	伊那谷の動物たちのいま	39	吉田保晴氏
2	10	変化する天竜川の生き物たち	48	久保田憲昭氏
3	17	伊那谷自然史発表会	40	

〈観察会〉

月	日	観察会・見学会名	参加人数	講師
4	15	杖突峠周辺の火砕岩地域を歩く、諏訪湖ができていない頃の様子	20	松島信幸氏・守屋雄介氏
4	22	長野県最南端の植物観察	8	堤 久氏
4	30	霧訪山、春植物と夏鳥とヒメギフチョウ	20	四方圭一郎氏・米山富和氏
5	13	片桐小八郎岳とひつじ満水	13	松島信幸氏
5	21	辰野町横川溪谷大洞谷の植物	14	清水岳志氏
5	28	南アルプス林道、春の花と石灰岩植物観察会	20	小林正明氏

6	4	南木曾町田立の滝から高層湿原の天然公園まで	15	所沢あさ子氏
6	11	中ア山麓には氷河期にできた扇状地段丘がある	25	松島信幸氏
7	17	遠山川上流の崩れと浸食地形	7	村松武氏・坂本正夫氏
8	5	遠山からヒョー越峠南方でアンモナイトやサメを探そう	26	小泉明裕氏
8	27	ムカシトンボのヤゴを探そう	5	久保田憲昭氏
9	2・3	国境の村で山や川の移り変わりをさぐる	10	松島信幸氏
10	15	日本のへそへ登り、フォッサマグナができる前の川の流れを探る	6	松島信幸氏
10	18	摺古木山へ登ろう!	14	清水岳志氏
11	11	下條村牛ヶ爪沢の大規模地すべりを歩く	5	松島信幸氏
12	3	駒ヶ根市筥石社周辺の奇妙な花崗岩類を見る	10	下平眞樹氏
2	3	スノーシュー・ハイクVII	21	今村公人氏
3	10	太田切川を切っている活断層地形を歩く	25	松島信幸氏
3	11	探鳥会、早春のさえずりを聞こう	22	米山富和氏

4. ホームページの運用

5. 各種団体との交流

- ・伊那谷研究団体協議会への参加
- ・南アルプスジオパーク協議会への参加

6. 他団体主催への講座・見学会等への協力

7. 博物館等への支援

- ・飯田市美術博物館 ・大鹿村中央構造線博物館 ・阿南町化石館 ・天竜川総合学習館
- ・はなのき友の会 ・戸台の化石保存会 ・飯田昆虫友の会

2017年度 決算書 (案)

伊那谷自然友の会

一、歳入総額 2,743,540円
 二、歳出総額 2,353,420円
 三、差引残高 390,120円

期間:4月1日~3月31日

四、歳入内訳

項目	2017年度予算	2017年度決算	増減	説明
1 会費	1,988,000	1,963,000▲	25,000	2017,4,1~2018,3,31までの入金
2 利子	135	9▲	126	郵便局、八十二銀行
3 繰越金	723,091	723,091	0	2016年度より
4 雑収入	50,000	57,440▲	7,440	販売代金、観察会参加費
5 飯田市補助金	175,000	0▲	175,000	
合計	2,936,226	2,743,540▲	192,686	

五、歳出内訳

項目	2017年度予算	2017年度決算	増減	説明
1 会報印刷費	1,487,160	1,487,160	0	No.191~196 6回 各1500部 6回の印刷費(オールカラー3回)
2 会報郵送費	221,000	211,616▲	9,384	No.191~196 6回
3 切手通信費	15,000	16,034▲	1,034	個人宛通信費、切手・はがき代
4 文具費	50,000	41,904▲	8,096	文具・紙代
5 封筒等印刷費	80,000	63,180▲	16,820	封筒(会報用)
6 総会費	70,000	60,978▲	9,022	講師謝礼・宿泊・交通費、自然史茶菓
7 観察会講師謝礼	90,000	80,000▲	10,000	観察会講師謝礼
8 会報編集費	353,000	330,500▲	22,500	内訳 会議旅費 101,500円 原稿料 76,000円 編集手当 33,000円 取材費 0円 宛名事務費 120,000円
9 ホームページ費	16,178	6048▲	10,130	レンタルサービス、管理費
10 出張費	15,000	0▲	15,000	
11 事務局費	50,000	50,000	0	会計事務局費
12 負担金	2,000	2,000	0	伊那谷研究団体協議会
13 予備費	486,888	4,000▲	482,888	
合計	2,936,226	2,353,420▲	582,806	

監査の結果、今年度収支は適正で、計数は
 相違無きことを確認致した

2018年4月1日

2018年5月19日

議決

山田博幸
 原茂樹

2017年度 伊那谷基金 決算書 (案)


伊那谷自然友の会


4月1日～3月31日

一、	歳入総額	2,429,000 円
二、	歳出総額	0 円
三、	差引残高	2,429,000 円
四、	歳入内訳	
	繰越金	2,429,000 円
五、	歳出内訳	
	支出金	0 円
六、	繰越金の内容	
	定額貯金 1	1,529,000 円
	定額貯金 2	900,000 円

監査の結果、貯金残高に相違ありません。

2018年4月1日

山田博孝 

原茂樹 

2018年 5月 19日 議決

2018年度

事業計画 (案)

1. 会報「伊那谷の自然」発行 (B5版、カラー4p、モノクロ12p/フルカラー) 各号1500部

- 第196号: H30, 4, 1発行
- 第197号: H30, 6, 1発行予定
- 第198号: H30, 8, 1発行予定
- 第199号: H30, 10, 1発行予定
- 第200号: H30, 12, 1発行予定
- 第201号: H31, 2, 1発行予定

2. 総会

期日 平成30年 5月 19日(土)

記念講演会 「川虫で河川環境を調べる 一川虫の多様性と生態特性、日本版スコア法の紹介」

講師 谷田 一三 氏 (大阪市立自然史博物館館長・大阪府立大学名誉教授)

参加人数 名

3. 講座と観察会

〈自然講座〉

月	日	講座名	講師
4	22	天龍峡・太古の湖から峡谷が出現	松島信幸氏
5	26	諏訪湖周辺の地質から信州中・南部の最近200万年間の地殻変動を探る	宮坂 晃氏・狩野謙一氏
7	22	南信で探る日本列島の形成	星 博幸氏
8	26	遠山地震300年目の伊那谷で、東海地震の被害も見つけて	坂本正夫氏
9	22	遠山で見つけた白砂の海の痕跡	村松 武氏
10	13	埋める・隠す・食べる・運ぶ、ホシガラスとハイマツの共生関係	西 教生氏
11	11	拝啓、雷鳥さま ー写真でみる神の鳥の生態ー	高橋広平氏
12	8	南アルプス生き物調査 第三弾!	四方圭一郎氏
1	12	野草と作物と雑草のお話	伊藤一幸氏
2	9	種ってなに? チョウの交雑実験からみた近縁種の関係	北原 曜氏
3	2	進化の中で現れた、植物と昆虫の切っても切れない縁	高野宏平氏
3	17	伊那谷自然史発表会	

〈観察会〉

月	日	観察会・見学会名	参加人数	講師
4	14	根羽村・平谷村の春の花巡り		所沢あさ子氏
4	15→30	遠山からヒョー越峠南方でアンモナイトやサメを探そう		小泉明裕氏・牧内文隆氏
4	28	夏鳥のさえずりを求めて -小川路峠-		米山富和氏
5	5	天龍峡の出現は初沢断層から		松島信幸氏
5	20	自然いっぱいので川虫探検		谷田一三氏
6	3	南アルプス林道でムシトリスミレを見よう (中止)		小林正明氏
6	10	木曾水木沢天然林を歩く		清水岳志氏
6	16	西春近の段丘を切る活断層?		北澤夏樹さん
7	21	中川村の風穴と陣馬形山の展望		片桐一樹さん
8	4	伊那谷の活断層(下伊那教育会地質委員会共催)		坂本正夫氏
9	2	孤高の絶滅危惧樹木ヒメバラモミの巨木		明石浩司氏
9	15	古代大陸の岩石採集(南ア ジオパーク共催)		坂本正夫氏・村松武氏
10	10	秋の鬼面山に登ろう		清水岳志氏
10	14	下伊那の地下資源		田中 良氏
11	18	動物のフィールドサインを読む		安田 守氏
11	23	上田城を造る火山性岩屑なだれ堆積物		横山 裕氏
12	2	サメ歯も出る富草層群の化石採集		小泉明裕氏・牧内文隆氏
2	2	スノーシューハイクⅧ		今村公人氏

4. ホームページの運用

5. 各種団体との交流

- ・伊那谷研究団体協議会への参加
- ・南アルプスジオパーク協議会への参加

6. 他団体主催への講座・見学会等への協力

7. 博物館等への支援

- ・飯田市美術博物館 ・大鹿村中央構造線博物館 ・阿南町化石館 ・天竜川総合学習館
- ・はなのき友の会 ・戸台の化石保存会・飯田昆虫友の会

2018年度予算書(案)

伊那谷自然友の会

4月1日～3月31日

一、歳入総額	2,522,130
二、歳出総額	2,522,130
三、差引残高	0

	項目	2018年度予算	2017年度予算	増減	説明
四、歳入内訳	1.会費	1,907,000	1,988,000	-81,000	決算額-60,000/年
	2.利子	10	135	-125	郵便局、八十二銀行
	3.繰越金	390,120	723,091	-332,971	2017年度より
	4.雑収入	50,000	50,000	0	
	5.飯田市補助金	175,000	175,000	0	
	合計	2,522,130	2,936,226	-414,096	
	項目	2018年度予算	2017年度予算	増減	説明
五、歳出内訳	1.会報印刷費	1,487,160	1,487,160	0	カラー4p. 200,880円×3回 オールカラー-294,840円×3回
	2.会報郵送費	210,000	221,000	-11,000	年6回
	3.切手通信費	17,000	15,000	2,000	2017年度決算参考
	4.文具費	50,000	50,000	0	文具、紙代
	5.封筒等印刷費	65,000	80,000	-15,000	会報用封筒、2017年度決算参考
	6.総会費	80,000	70,000	10,000	講師謝礼・宿泊・交通費 自然史発表会茶菓子代
	7.観察会講師謝礼	80,000	90,000	-10,000	2017年度決算参考
	8.会報編集費	353,000	353,000	0	内訳 会議旅費 110,000 原稿料 80,000 編集手当 33,000 取材費 10,000 宛名事務費 120,000
	9.ホームページ費	10,000	16,178	-6,178	レンタルサービス料 年間管理費
	10.出張費	10,000	15,000	-5,000	
	11.事務局費	50,000	50,000	0	
	12.負担金	2,000	2,000	0	伊那谷研究団体協議会負担金
	13.予備費	107,970	486,888	-378,918	
	合計	2,522,130	2,936,226	-414,096	

2018年 5月19日 議決

2018年度 伊那谷基金 予算書(案)

伊那谷自然友の会

4月 1日～3月31日

一、歳入総額	2,429,000 円
二、歳出総額	0 円
三、差引残高	2,429,000 円

四、歳入内訳	繰越金	2,429,000 円
--------	-----	-------------

五、歳出内訳	支出金	0 円
--------	-----	-----

六、繰越金の内容	定期預金1	1,529,000 円
----------	-------	-------------

	定期預金2	900,000 円
--	-------	-----------

2018年 5月19日 議決

2018年度 役員組織 (案)

「任期は2ヶ年：奇数年度は改正年度」

伊那谷自然友の会

- 1, 会 長 伊藤 渉
- 2, 副 会 長 久保田賀津男 中村 貴俊
- 3, 常 任 委 員 浅岡 恵美 伊藤 渉 井原 道夫 今村 公人
香山 幸子 木下 進 久保田賀津男 小泉 明裕
小林 正明 坂本 正夫 四方圭一郎 清水 岳志
下平 勉 所沢あさ子 田中 良 中村 貴俊
原 茂樹 北城 節雄 牧内 誠 松島 信幸
村松 武 山田 博章 山上 和彦 米山 富和
(24名)
- 4, 幹 事
 - <事務行事> 浅岡 恵美 小泉明裕 四方圭一郎 田中 良
村松 武 松島信幸 米山富和
 - <会 計> 田中 良 浅岡 恵美
 - <会報編集> 伊藤 渉 井原 道夫 久保田賀津男 小泉 明裕
四方圭一郎 所沢あさ子 中村 貴俊 松島 信幸
村松 武 米山 富和
- 5, 会計監査委員 山田 博章 原 茂樹
- 6, 伊那谷研究団体協議会 伊藤 渉 中村貴俊 田中 良